

おおむね改造・修繕を兼ねており、さらにある程度部品の自家製造を行っている。会社数は39社であるが、これを大別すると専業メーカー、兼業メーカー、修繕メーカーとなる。

経営規模も大小さまざまである。機関車・客車・電車・貨車とすべての車種を生産する大規模のものから、貨車のみの生産しか行わない小規模のものまでである。またその生産経歴においても創業後50年以上を経たものから、戦後生産を開始したものまでいろいろある。

第1表 資本金別会社数 昭30・3・31現在

資本金 項目	200万 円未満	200万 円以上	500万 円以上	1,000万 円以上	5,000万 円以上	1億円 以上	10億円 以上	計
会社数	10	6	3	7	1	8	4	39
社数比%	25	15	8	18	3	21	10	100

運輸省鉄道監督局調

第2表 鉄道車両生産能力 昭30・8現在

車種	能力	設備能力	稼働能力
蒸気機関車		588両	429両
電気機関車		181	139
客車・電車		2,986	1,975
貨車		20,700	12,108

運輸省鉄道監督局調

第3表 年度別鉄道車両生産実績

年度	蒸気機関車	電気機関車	客車・電車	貨車
昭4	116両	14両	939両	4,237両
"5	66	6	526	4,804
"6	24	23	349	2,127
"7	67	11	359	2,388
"8	126	5	516	1,455
"9	242	39	741	3,614
"10	351	7	699	6,736
"11	330	15	843	6,321
"12	404	16	681	5,880
"13	593	19	1,058	10,312
"14	650	12	1,063	9,012
"15	719	37	1,449	11,580
"16	594	39	1,368	9,432
"17	402	36	471	8,183
"18	540	31	148	9,486
"19	592	26	67	9,792
"20	102	10	101	1,382
"21	165	37	925	1,591
"22	90	40	1,099	1,713
"23	27	22	823	12,219
"24	63	15	679	3,040
"25	92	3	945	5,831
"26	42	17	559	9,715
"27	72	27	713	7,077
"28	31	53	1,019	6,083
"29	119	55	1,172	4,719
"30	120	46	1,011	5,779
"31	153	79	1,538	9,318

(注) 1 蒸気機関車 D51 電気機関車 EF10
客・電車 オハ 貨車 トム

に換算して示す。

2 内燃機関車は蒸気機関車に含めた。

3 昭和28年までは日本鉄道車両工業協会資料より作成し、29年以後は鉄道車両等生産動態統計調査により作成した。

3 生産能力・生産実績

生産能力は第2表のとおりであるが、この生産能力は昭和30・8運輸省調査のもので、以下の諸条件によったものである。

(1) 設備能力とは労働力・資材・副資材・電力その他に制限されることなく、現在自己の保有する設備により現在の技術をもって、理想的に作業し得る状態にある場合の能力である。

(2) 稼働能力とは現在の設備・人員および技術の熟練程度によって達成し得る能力である。

(3) 作業時間はすべて1日7時間とし、年間稼働日数を300日とする。

(4) 蒸気機関車・電気機関車の能力は両者をどちらも平衡して生産する場合の能力を示し、客車・電車・貨車の生産能力には関連しないものである。

(5) 客車・電車・貨車の能力はこれらを平衡して生産する場合の能力を示し、蒸気機関車・電気機関車の生産能力には関連しないものである。

(6) 能力はつぎの形式の鉄道車両数に換算したものである。

蒸気機関車 D51 電気機関車 EF10 客車・電車 オハ 貨車 トム

つぎに生産実績を昭和4年度以降について見ると、昭和9年度以降増加の一途をたどった生産は、昭和15年度をピークとして減少に転じ、昭和28年度は昭和11年度にくらべて70%（貨車換算による）生産である。この間生産の減少した年は昭和初

第4表 年度別・需要別鉄道車両生産割合

年度	種	蒸気機関車			電気機関車			客車・電車			貨車		
		国鉄	私鉄	輸出	国鉄	私鉄	輸出	国鉄	私鉄	輸出	国鉄	私鉄	輸出
昭 4		81	—	19	%	%	%	%	%	%	%	%	%
" 5		79	2	19		61	39	48	48	4	33	65	2
" 6		68	32		62	13	25	58	40	2	26	63	11
" 7		78	5	17	83	7	10	50	41	9	42	40	18
" 8		49	5	46	23	13	64	50	18	32	52	12	36
" 9		26	2	72	61	15	24	23	34	43	47	16	37
" 10		31	2	67	54	22	24	30	24	46	38	24	38
" 11		35	2	63	51	17	32	38	29	33	54	16	30
" 12		42	3	55	52	9	29	47	36	17	74	13	13
" 13		46	4	50	57	12	31	52	19	29	73	6	21
" 14		38	2	60	29	22	49	43	11	46	84	13	3
" 15		39	2	59	44		56	36	19	45	87	5	8
" 16		28	3	69	54	6	40	30	19	51	62	9	29
" 17		33	3	64	38	3	59	25	22	53	70	7	23
" 18		46	3	51	24	8	68	13	40	47	82	6	12
" 19		66	2	32	49	9	42	39	47	14	92	4	4
" 20		88	3	9	62	15	23	95	5		91	4	5
" 21		89	2	9	83		17	96	4		95	5	
" 22		68	7	25	87	7	6	89	11		92	3	5
" 23				100	89		11	55	42	3	93		7
" 24			17	83	68		32	25	50	25	52	25	23
" 25			2	98		100		48	38	14	31	10	59
" 26			20	80	77	23		66	33	1	74	9	17
" 27			27	73	97	3		65	26	9	58	12	30
" 28			41	59	97	3		58	31	11	63	22	15
" 29	2		5	93	95	5		46	17	37	71	29	
" 30			4	96	97	3		53	17	30	64	15	21
" 31	3		5	92	97	3		51	21	28	50	18	32

(注) 1 各年度とも車種別に100パーセントとする。

2 輸出には特需を含む。

3 日本鉄道車両工業協会資料・鉄道車両等生産動態統計調査より作成。